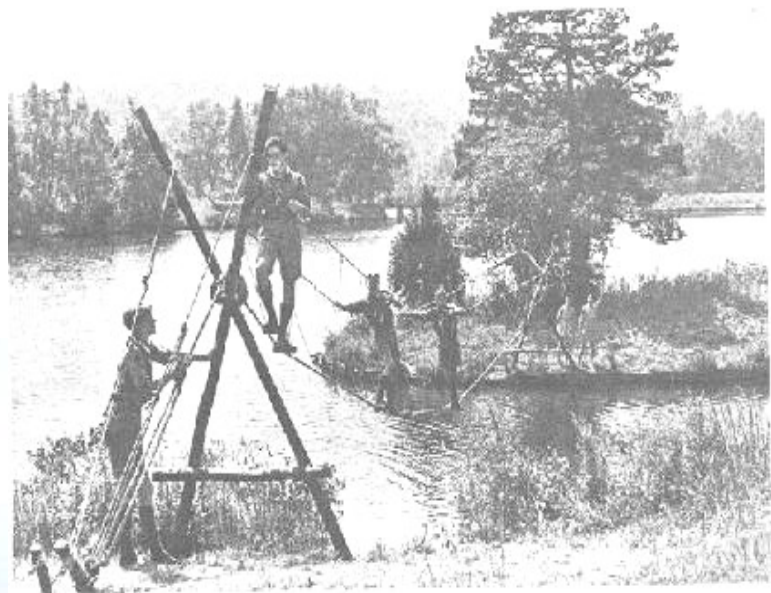
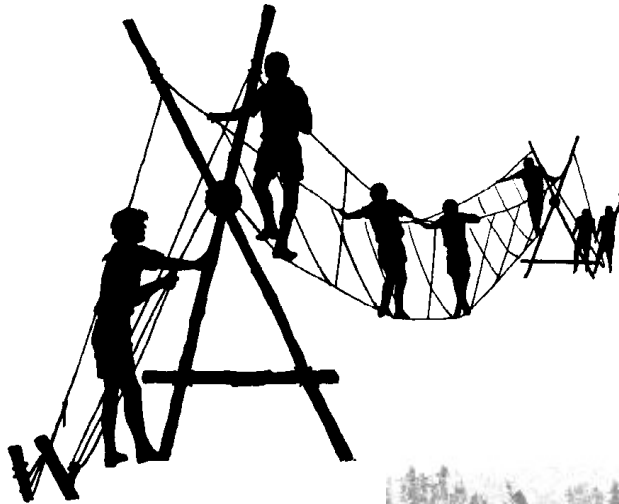


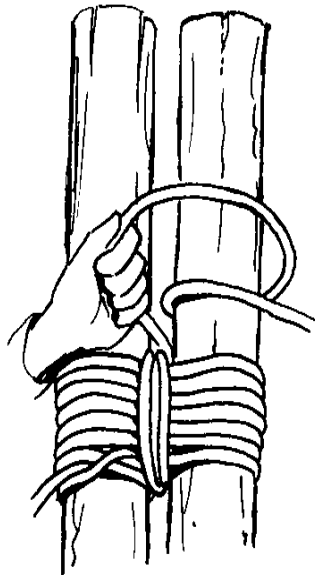
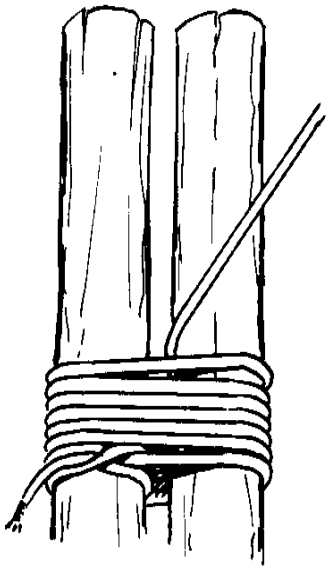
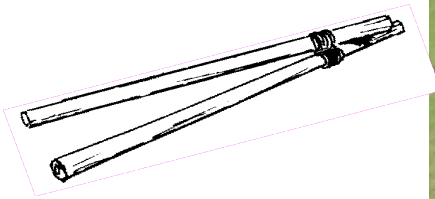
猿 橋

モンキー・ブリッジ

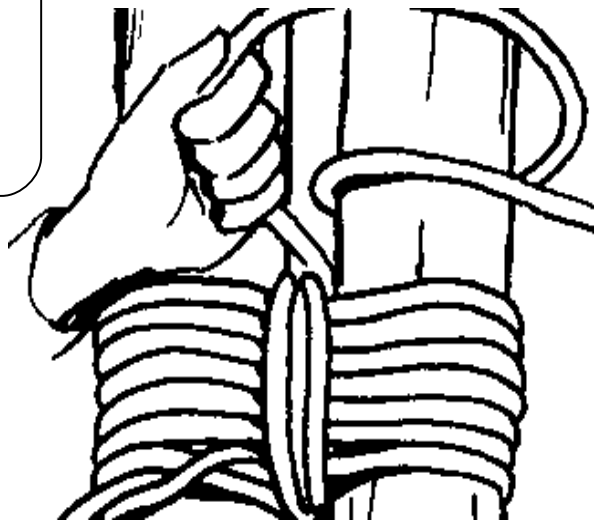


刈谷市スカウト指導者会

支柱



次のいずれかで縛る
挟み縛り
筋交い縛り

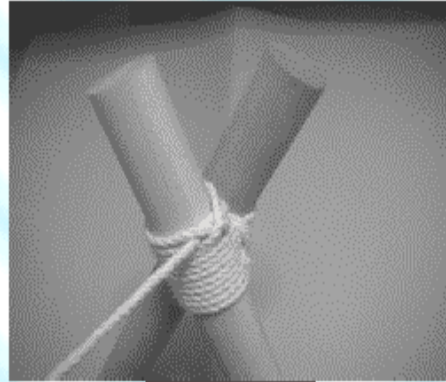


写真図解

はさみ縛り(二脚バージョン)

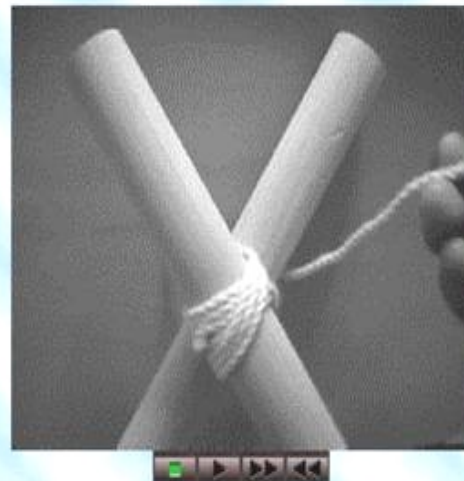
これは2本の丸太や角材を縛る方法です。

挟み縛り



1. 一方に“巻き結び”を作ります。
2. 残った端はメインにからめます。
3. 次の柱を用意して、5~6回巻き付けます。(強くないこと)
4. 次に「割り」を、柱の間に2回ほど入れます。
5. 割りの端止めて。
6. 最後は固め止め結びをして、よく引っ張ります。
7. 余ったロープはカットするか、柱に巻き付けておきます。

筋交い縛り



1. 最初に“ねじ結び”を作ります。
2. 水平に2~3回しっかり巻きます。
3. 次に交差部を下から縦に3回程巻きます。
4. 丸太と丸太の間に「割り」と言われる巻きを2~3回しっかり入れます。
5. 最後は固め止め結びをして、よく引っ張ります。
6. 余ったロープはカットするか、柱に巻き付けておきます。

昇降用足場

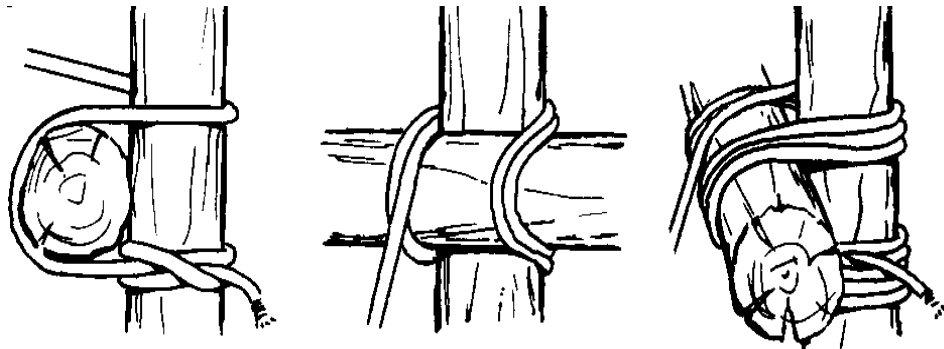
昇降用足場の取付

基本は、角縛り
交差する部分は筋交い縛り

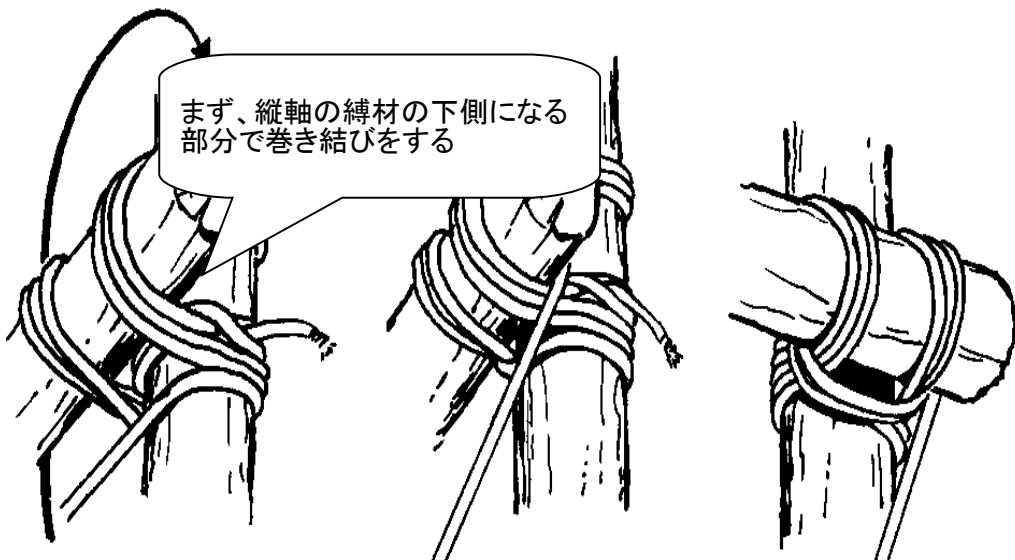


根元は、ゆるくてよい

角縛り



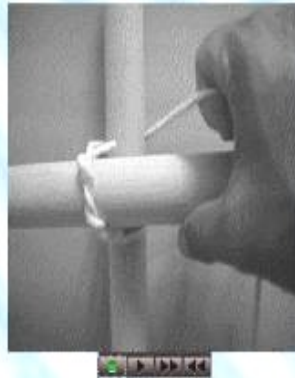
まず、縦軸の縛材の下側になる
部分で巻き結びをする



写真図解

角縛り

この縛りは丸太や角材を直角に近い状態で止められるので、テーブルをつかったり、いろんな台をつかったり幅広い用途に使われます。しっかりゆるまないように力強く縛ることが大事です。



角縛り

1. 最初に“巻き結び”を作ります。
2. 残った端はメインにからめます。
3. 横の丸太をあてがいます。
4. 下から横丸太の前を巻いた後、今度は縦丸太の裏を水平に巻きます。
5. 次に横丸太の前を下に巻き、また縦丸太の裏を水平に巻きます。
6. この作業を3~4回しっかり巻きながら繰り返します。
7. 丸太と丸太の間に「割り」と言われる巻きを2~3回しっかり入れます。
8. 最後は固め止め結びをして、よく引っ張ります。
9. 余ったロープはカットするか、柱に巻き付けておきます。

